

島根益田信用組合の経営内容と地域貢献活動について（20年9月末 現在）

《平成20年度上期の業績と仮決算》

島根益田信用組合

1. 業績について

	20年3月末	20年9月末	増減額(増減率)
預金残高	21,236 百万円	22,403 百万円	1,167 百万円(5.4%)
うち個人定期	12,571 百万円	12,621 百万円	50 百万円(0.3%)
貸出金残高	16,277 百万円	15,885 百万円	△392 百万円(△2.4%)
うち事業性	10,001 百万円	9,726 百万円	△275 百万円(△2.7%)

預金残高については、平成20年3月末21,236百万円から1,167百万円増加し、平成20年9月末22,403百万円となりました。

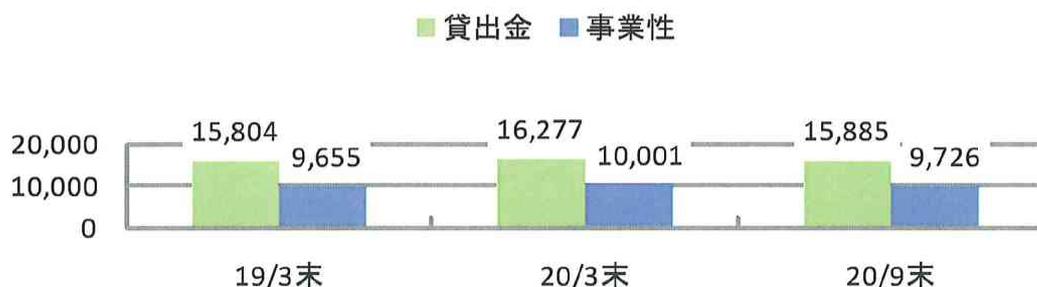
一方、貸出金残高については、公共工事の減少や原油価格等の高騰の煽りを受け、地域経済が疲弊する中で倒産が相次ぎ、平成20年3月末16,277百万円から392百万円減少し、平成20年9月末15,885百万円となりました。

島根益田信用組合では引続き『地域貢献』を達成するため、地域経済を支えている中小企業の皆様に対する健全な融資の推進・適切かつ積極的な金融仲介機能の発揮に取り組んでおります。

預金残高の推移(単位:百万円)



貸出金残高の推移(単位:百万円)



2. 自己資本比率について

島根益田信用組合の自己資本比率は、平成20年3月期の13.51%を上回る13.73%となり、国内で業務を行う金融機関の基準(※1.早期是正措置の概要参照)である4%の約3.5倍という高い水準を維持しているのみならず、大手銀行等の海外で業務を行う金融機関の基準である8%をも上回る高い水準となっており、健全な経営内容を誇っています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本総額} \quad 1,562 \text{ 百万円}}{\text{(Tier I 1,491百万円+Tier II 71百万円)} \quad \text{リスク・アセット等(注) 11,375 百万円}} \times 100 = 13.73\%$$

(注)貸出金や有価証券、預け金等、損失が発生する可能性のある資産の総額

●自己資本総額 (単位:百万円)

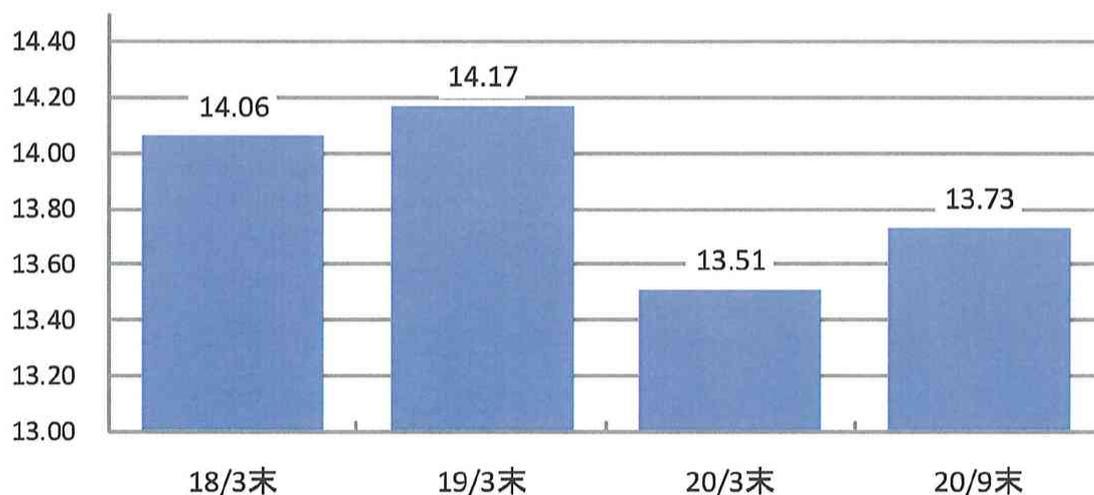
●リスク・アセット等 (単位:百万円)

自己資本総額	1,562
出資金	217
利益準備金	221
特別積立金	1,030
次期繰越金	44
有価証券評価差損	△22
一般貸倒引当金	73
補完的項目不算入額	△2

リスク・アセット等計	11,375
資産(オン・バランス)項目	10,433
オフ・バランス取引等項目	41
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	900

※補完的項目不参入額△2=71-73 一般貸倒引当金の上限 リスク・アセット等計 11,375×0.625%=71

自己資本比率の推移



<※1. 早期是正措置(銀行法第26条第1項に基づく命令)の概要>

自己資本比率		是正措置の内容
信用組合等、国内で業務を行う金融機関	大手銀行等、海外で業務を行う金融機関	
4%以上	8%以上	経営体質が健全で問題がない金融機関
2%以上 4%未満	4%以上 8%未満	経営改善計画の作成・実施命令
1%以上 2%未満	2%以上 4%未満	総資産の圧縮、新規業務の禁止等
0%以上 1%未満	0%以上 2%未満	大幅な業務の縮小、合併等の実施命令
0%未満	0%未満	業務の一部・全部の停止命令

3. 債務者区分別貸出先数・貸出金、分類貸出

島根益田信用組合では、厳正に自己査定を実施し、その内容を詳細に分析して、お取引先の実態についての的確に把握するよう努めるとともに、お取引先の経営指導、経営改善にも全力をあげて取り組むことにより、資産の健全性の向上に努めています。

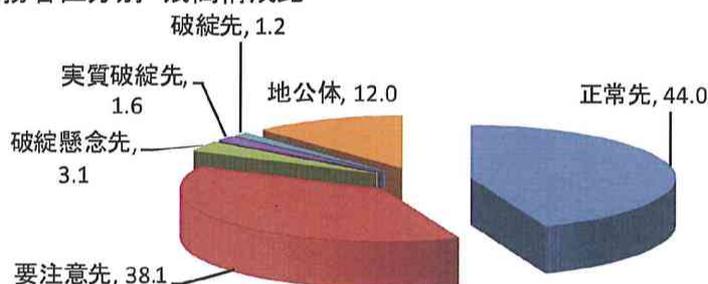
自己査定にあたっては、まず債務者の財務、経営状態に応じて、正常先から破綻先までの5段階に債務者区分を行います。その結果が次の「債務者区分別先数・貸出金」です。

●債務者区分別先数・貸出金

(単位:先、百万円 単位未満切捨)

		先数	金額(構成比)
正常先	業況が良好で、財務内容にも特段の問題がない先	2,415	6,992(44.0%)
要注意先	今後の管理に注意を要する先	499	6,053(38.1%)
うち要管理先	「貸出条件緩和債権」または「3ヶ月以上延滞債権」を有している先	18	184(1.2%)
破綻懸念先	経営破綻の状況にはないが、経営難の状態にあり、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	38	489(3.1%)
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	40	261(1.6%)
破綻先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	16	189(1.2%)
国・地方公共団体(回収の危険性がないため、債務者区分を行っていません)		2	1,899(12.0%)
合 計		3,010	15,885(100.0%)

債務者区分別 残高構成比



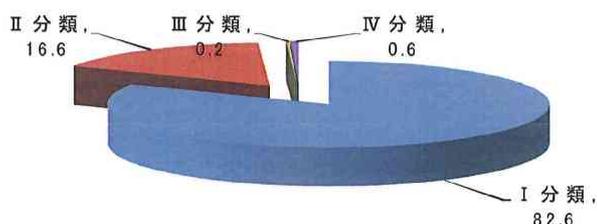
次に、債務者区分毎に、担保・保証等による債権回収の可能性を評価して、貸出金をI分類からIV分類までの4つのランクに分類します。その結果が次の「分類貸出金」です。

●分類貸出金

(単位:百万円)

		金額(構成比)
I分類	回収について問題のない貸出金	13,116(82.6%)
II分類	回収について注意を要する貸出金	2,644(16.6%)
III分類	回収について重大な懸念がある貸出金	33(0.2%)
IV分類	回収不能と判定される貸出金	91(0.6%)
合 計		15,885(100.0%)

分類貸出金 残高構成比



4. 金融再生法 開示債権及び同債権に対する保全額

島根益田信用組合の金融再生法で定められた開示債権額は、平成 20 年 3 月期の 943 百万円から 143 百万円増加し、平成 20 年 9 月末 1,086 百万円となりました。総債権額に占める開示債権額の割合(開示債権比率=不良債権比率)については、開示債権額の増加によって、平成 20 年 3 月期 5.76%から 1.04%上昇し、平成 20 年 9 月末 6.80%となりました。

なお、平成 20 年 9 月末の開示債権額 1,086 百万円は担保、保証等、引当金による保全額 1,081 百万円によって、その債権額の 99.53%はカバーされております。

●金融再生法 開示債権

単位:百万円(単位未満切捨、各合計値は千円単位を集計し単位未満を切捨、比率は百万単位で算出)

	19/3 末	20/3 末	増減	20/9 末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	229	336	107	464	128
危険債権	381	480	99	489	9
要管理債権	53	126	73	132	6
開示債権 計 A	665	943	278	1,086	143
正常債権	15,236	15,425	189	14,862	△563
合 計	15,901	16,369	468	15,949	△420
担保・保証等 B	532	791	259	934	143
貸倒引当金 C	101	140	39	147	7
保全額合計 D=B+C	634	932	298	1,081	149
担保、保証等、引当金による保全率 D/A	95.33%	98.83%	3.50%	99.53%	0.70%
貸倒引当金 引当率 C/(A-B)	75.93%	92.10%	16.17%	96.71%	4.61%

総債権額 E	15,901	16,369	468	15,949	△420
開示債権比率 A/E	4.18%	5.76%	1.58%	6.80%	1.04%

(注)平成 20 年 9 月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第 4 条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
2. 「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
3. 「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち、貸出条件を緩和している債権及び 3 ヶ月以上延滞している債権の合計です。

5. 銀行法 リスク管理債権及び同債権に対する保全額

島根益田信用組合の銀行法で定められたリスク管理債権額は、平成 20 年 3 月期の 930 百万円から 143 百万円増加し、平成 20 年 9 月末 1,073 百万円となりました。貸出金に占めるリスク管理債権額の割合(リスク管理債権比率)については、リスク管理債権額の増加によって、平成 20 年 3 月期 5.71%から 1.04%上昇し、平成 20 年 9 月末 6.75%となりました。

なお、平成 20 年 9 月末のリスク管理債権額 1,073 百万円は担保、保証等、引当金による保全額 1,067 百万円によって、その債権額の 99.44%はカバーされております。

●銀行法 リスク管理債権

単位:百万円(単位未満切捨、各合計値は千円単位を集計し単位未満を切捨、比率は百万単位で算出)

	19/3 末	20/3 末	増減	20/9 末	増減
リスク管理債権総額 A	651	930	279	1,073	143
破綻先債権額	40	79	39	189	110
延滞債権額	557	723	166	751	28
3ヶ月以上延滞債権額	—	—	—	3	3
貸出条件緩和債権額	53	126	73	128	2
担保・保証等 B	532	791	259	934	143
貸倒引当金 C	88	127	39	133	6
保全額合計 D=B+C	621	919	298	1,067	148
担保、保証等、引当金による保全率 D/A	95.39%	98.81%	3.42%	99.44%	0.63%
貸倒引当金 引当率 C/(A-B)	73.94%	91.36%	17.42%	95.68%	4.32%
貸出金 E	15,804	16,277	473	15,885	△392
リスク管理債権比率 A/E	4.11%	5.71%	1.60%	6.75%	1.04%

6. 金利リスクに関する事項

金利リスクとは、金利変動に伴い損失を被るリスクのことで、当組合では資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下及び損失を被るリスクと定義しています。

当組合はSKC(信組情報サービス株式会社)のALMシステムを使用し金利リスクを計測しており、その算出手法としては、現時点における資産・負債のキャッシュフローを計算し、現時点と金利変動後で計算した現在価値の差額を金利ショック下での現在価値変動額として計算する再評価法を採用しています。

なお、計算方法については、観測期間 5 年、比較営業日 240 日前、99 パーセン・1 パーセントイル値を採用し、コア預金については、要求払預金の過去 5 年間の月末残高を調査し、現在高の 50%相当額を最少の額とし、平均残存期間 2.5 年の毎月均等割で計測しています。

(単位:百万円)

	金利リスク
金利リスクに対する経済的価値の増減額	△445

7. 主要な経営諸指標

資産・負債及び組員勘定

(単位:百万円)

科 目	資産の部		科 目	負債及び組員勘定の部	
	19年9月期	20年9月期		19年9月期	20年9月期
現 金	310	267	預 金 積 金	22,002	22,403
預 け 金	6,000	5,920	借 用 金	200	-
有 価 証 券	1,108	1,702	そ の 他 負 債	350	88
貸 出 金	16,234	15,885	賞 与 引 当 金	11	10
そ の 他 資 産	305	256	退 職 給 付 引 当 金	101	98
動 産 不 動 産	281	204	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	-	13
繰 延 税 金 資 産	71	79	債 務 保 証	56	50
債 務 保 証 見 返	56	50	負 債 の 部 計	22,721	22,664
貸 倒 引 当 金	▲ 191	▲ 211	純 資 産	1,456	1,491
(うち個別貸倒引当金)	▲ 115	▲ 137	出 資 金	216	217
			利 益 剰 余 金	1,240	1,296
			株 式 等 評 価 差 額 金	▲ 1	▲ 22
合 計	24,177	24,155	合 計	24,177	24,155

損益

(単位:百万円)

科 目	19年9月期	20年9月期
経 常 収 益	304	324
資 金 運 用 収 益	292	305
(うち貸出金利息)	258	262
役 務 取 引 等 収 益	11	11
そ の 他 業 務 収 益	1	5
そ の 他 経 常 収 益		1
経 常 費 用	282	289
資 金 調 達 費 用	27	37
(うち預金利息)	27	37
役 務 取 引 等 費 用	35	35
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入	6	0
経 費	194	210
そ の 他 経 常 費 用	18	5
経 常 利 益	21	35
特 別 利 益	4	2
特 別 損 失		0
税 引 前 当 期 (中 間) 純 利 益	26	36
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	10	5
法 人 税 等 調 整 額	▲ 1	6
当 期 (中 間) 純 利 益	17	24

経営指標

(単位:百万円)

科 目	19年9月期	20年9月期
経常収益	304	324
業務純益	40	39
経常利益	21	35
当期(中間)純利益	17	24
預金積金残高	22,002	22,403
貸出金残高	16,234	15,885
有価証券残高	1,108	1,702
総資産額	24,177	24,155
純資産額	1,456	1,491
自己資本比率	13.97%	13.73%
出資金	216	217
出資総口数	433,420口	434,231口
役員員数	50人	50人

諸利回・諸比率

(単位:百万円)

科 目	19年9月期	20年9月期
預け金利回	0.74	0.85
有価証券利回	1.13	1.20
貸出金利回	3.28	3.35
預金利回	0.25	0.33
資金運用利回	2.50	2.55
資金調達原価率	2.02	2.18
総資金利鞘	0.48	0.37
預貸率 (末残)	73.78	70.90
(平残)	71.45	69.24
預証率 (末残)	5.03	7.59
(平残)	5.50	9.19

有価証券の時価情報

(単位:百万円)

種 類	19年9月30日			20年9月30日		
	帳簿価格	時 価	評価損益	帳簿価格	時 価	評価損益
株式	10	13	2	35	35	0
債券	1,099	1,094	▲ 4	1,699	1,667	▲ 32
その他						
合計	1,110	1,108	▲ 1	1,734	1,702	▲ 32

※評価損益は、帳簿価格と時価との差額を計上しております。

8. 地域貢献活動

①地域貢献に関する経営方針

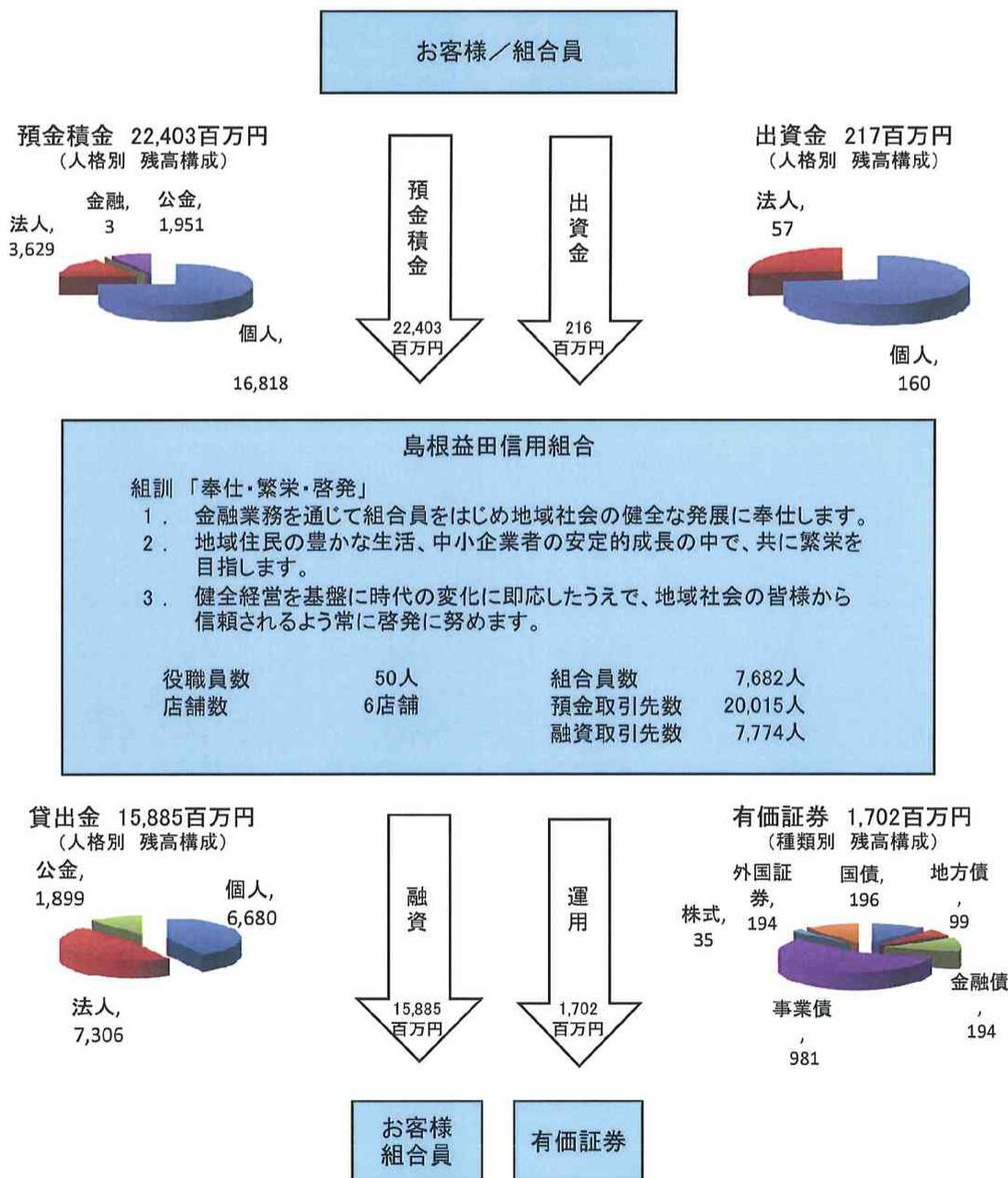
当組合は地域との共存共栄をスローガンに掲げ、狭域の中、信用組合の原点に立ち返り「顧客との永い取引関係を維持する」ためにも、基本姿勢は「フェイス・トゥ・フェイス」から「マウス・トゥ・マウス」へ変更。

持ち味であるフットワークを活かして営業基盤の拡充を図り、協同組織金融機関として組合員皆様の社会的・経済的地位の向上に役立つことを目標に一層地域に密着し、地域の発展に努めます。

②預金を通じた地域貢献

地域のお客様からお預りした大切な資金(預金積金、出資金)は、厳正かつ公正な審査に基づき、中小企業者や個人のお客様へ積極的にご融資し、お客様及び地域社会の健全な発展をお手伝いするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や個人のお客様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

《 “ますしん” と地域社会 》

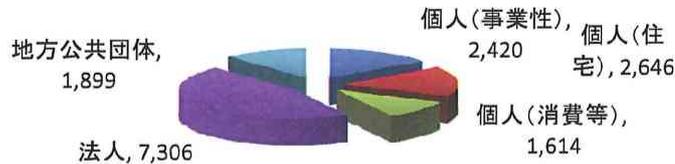


③融資を通じた地域貢献

当組合は「奉仕・繁栄・啓発」を組訓に掲げ、地域の事業者(勤労者)一人ひとりへの相互扶助の精神で、地元の協同組織金融機関として業務を通じて地域との永いお付き合いを大切にしながら、共に助け合い、金融サービスと円滑な資金供給に努めております。

(1)貸出金

◆ 貸出金 15,885百万円(人格・使途別 残高構成)



◆ 業種別貸出残高状況表

単位:百万円

業種別	総貸出額						
	貸出先数		金額				合計 金額 構成比
	先数	構成比	設備資金	運転資金	金額	構成比	
製造業	51	1.6%	27	657	685	4.3%	
農業	5	0.2%	9	140	149	0.9%	
林業	4	0.1%	8	68	77	0.5%	
漁業	1	0.0%		0	0	0.0%	
建設業	139	4.5%	143	2,498	2,641	16.6%	
電気、ガス、熱供給、水道業	6	0.2%	3	64	67	0.4%	
情報通信業	2	0.1%		13	13	0.1%	
運輸業	21	0.7%	37	392	429	2.7%	
卸売・小売業	171	5.5%	212	1,789	2,001	12.6%	
金融、保険業	1	0.0%		150	150	0.9%	
不動産業	18	0.6%	400	198	599	3.8%	
各種サービス業	207	6.6%	702	1,417	2,120	13.3%	
その他の産業	7	0.2%	39	209	249	1.6%	
地方公共団体	2	0.1%	1,188	711	1,899	12.0%	
個人(住宅・消費・納税資金等)	2,483	79.6%	2,512	2,288	4,801	30.2%	
合計	3,118	100.0%	5,285	10,600	15,885	100.0%	

(単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。)

(2)島根県中小企業制度融資の取扱状況

県内中小企業の施設・設備の近代化、経営の合理化等に必要な資金の融資を円滑にするため、県が金融機関等の協調を得て行う融資を「島根県中小企業制度融資」と言います。

単位:百万円

資金名等	20年度上期 実績		20年9月末 残高	
	件数	実行額	件数	残高
一般設備資金 ※中小企業者等が施設・設備の改善を行う場合	6	60	33	195
一般運転資金 ※中小企業者等が運転資金を必要とする場合	24	273	157	1,100
小規模企業特別資金 ※小規模企業者が設備または運転資金を必要とする場合	36	107	56	185
小規模企業育成資金 ※小規模企業者が設備または運転資金を必要とする場合	2	19	107	364
創業者支援資金 ※創業のための資金を必要とする場合	4	21	24	104
構造転換支援資金 ※基盤強化のために既往借入金の借換資金を必要とする場合	0	0	12	332
長期経営安定緊急資金 ※一時的な業況悪化で資金を必要とする場合	2	13	60	584

(3)個人向けローン商品の概要と実績

単位:百万円

種類		特色等	ご利用期間	ご融資金額	20年9月末残高
住宅	ますしん住宅ローン	マイホームの新築、増改築、土地・住宅購入等	35年以内	3,000万円以内	1,943
	住まいる応援団		10年以内	500万円以内	164
	しんくみリフォームローン	マイホーム増改築			61
	リフォーム応援団	マイホーム増改築等	15年以内	1,000万円以内	16
車	新型マイカーローン	マイカー購入、車検、修理等	7年以内	500万円以内	81
	しんくみカーライフローン				82
教育	新型教育ローン	教育資金	14年以内	500万円以内	99
	親心応援団	卒業後は多目的ローン		300万円以内	22
	進学応援団	教育資金	10年以内	500万円以内	49
カード	ぼけっとカードローン	資金使途自由	3年更新	70万円以内	160
	生活応援団			100万円以内	81
	おともだち	組員限定カードローン		50万円以内	154
その他	しんくみ目的ローン	使途が証明できる費用	7年以内	500万円以内	3
	ニューふれあいローン		7年以内	500万円以内	62
	しんくみフリーローン		5年以内	300万円以内	27
	遊you(ゆうゆう)応援団	資金使途自由	7年以内	200万円以内	15
	クイック応援団		5年以内	99万円以内	8
	シルバー応援団		5年以内	100万円以内	3
	レディース応援団		7年以内	50万円以内	2

④取引先への支援状況等

(1)要注意先等へのランクアップへの取組み

当組合では16先の事業者を「再生支援先」として抽出し、再生計画の策定や経営改善指導等の支援を行っております。

なお、20年度上期は実績として債務者区分のランクアップ先はありませんが、当組合は再生計画と実績の管理、計画未達成の場合の要因等の把握など事業者と営業店、本部が一体となった経営改善に取り組めます。

【20年度(20年4月～20年9月)】

(単位:先数)

		経営改善支援取組み先 α	α のうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	α のうち期末に債務者区分が変化しなかった先 γ
正 常 先				
要 注 意 先	うち その他要注意先	13		12
	うち 要 管 理 先	1		1
破 綻 懸 念 先		2		2
実 質 破 綻 先				
破 綻 先				
合 計		16		15

(2)創業支援

当組合では外部関係機関等と連携し創業者の支援を行っており、20年度上期は4先 21百万円の創業資金に取組んでおります。

⑤個人保証に過度に依存しない融資の取組状況

当組合では個人保証に過度に依存しない融資として下記①動産・債権譲渡担保融資である「売掛債権担保融資」の取組みを積極的に行っております。

単位:百万円

資金名等	20年度上期 実績		20年9月末 残高	
	件数	実行額	件数	残高
①動産・債権譲渡担保融資(ABLを含む)	1	27	0	0
②知的財産担保融資	0	0	0	0
③コベナンツを活用した融資	0	0	0	0
④スコアリングモデルを活用した融資等	0	0	0	0

⑥地域サービスの充実

(1)店舗・ATM等の設置数

店名	住所	電話	ATM
本店	〒698-0024 益田市駅前町14番23号	0856(22)3030	2台
浜田支店	〒697-0027 浜田市殿町83番216	0855(22)5354	1台
小野支店	〒699-3763 益田市戸田町イ610番1	0856(28)1050	—
西益田支店	〒699-5132 益田市横田町233番12	0856(25)2011	1台
高津支店	〒698-0041 益田市高津6丁目15番30号	0856(23)1888	1台
あけぼの支店	〒698-0025 益田市あけぼの西町18番7	0856(23)1500	1台
ゆめタウン益田店 出張所	益田市高津 ゆめタウン益田店内	店舗外OD(共同)設置	1台
益田市役所 第2出張所	益田市常盤町 益田市役所敷地内	店舗外OD(共同)設置	1台

※営業時間外や日曜日・祝日の場合のカード盗難・紛失時等における緊急連絡先

自動機集中監視センター(ボイスワープ) 0856-23-0886

平日・土曜日 17:00~22:00 ※営業時間内は上記営業店(土曜日は本店のみ)へご連絡下さい。

日曜日・祝日 8:45~22:00

(2)顧客の組織化(ますしん 友の会)とその活動状況

当組合で年金を受給されている皆様等で組織され、年1回の旅行を実施しております。

20年度(H20.10.22~H20.10.23) ~安芸の小京都竹原の町並み散策と芸術、歴史を感じる旅~



《松濤園》



《世羅高原農場》

(3)苦情相談窓口の設置

当組合では、お客様からのご要望等にお応えするため各営業店の窓口「お客様相談受付窓口」を設置しております。

信用組合業務に関してお困りのことや当組合へのご意見、ご要望がございましたら、ご遠慮なくお申しつけ下さい。

⑦文化的・社会的貢献に関する活動

○「小さな親切運動」参加

◆持石海岸(益田市)清掃活動



○「しんくみの日週間」実施

◆H20.9.6 カーブミラーの清掃活動

◆H20.9.4 献血運動



おつきあい まごころで



島根益田信用組合

〒698-0024 島根県益田市駅前町14番23号
TEL:0856-22-3030 FAX:0856-23-6250
E-mail masushin@beach.ocn.ne.jp
<http://shimanemasushin.com/index.php>